



ユーザ アクセスの設定

- [ユーザ アクセスの概要, 1 ページ](#)
- [ユーザ アクセスの前提条件, 4 ページ](#)
- [ユーザ アクセス設定のタスク フロー, 4 ページ](#)
- [標準権限とアクセス コントロール グループ, 11 ページ](#)

ユーザ アクセスの概要

Cisco Unified Communications Manager に対するユーザ アクセスは、次の項目をエンド ユーザに割り当てることで管理できます。

- ロール
- [アクセスコントロールグループ (Access Control Groups)]
- ユーザ ランク

ロール、アクセス コントロール グループ、ユーザ ランク コントロールでは、Cisco Unified Communications Manager に対する複数レベルのセキュリティを提供します。各ロールでは、Cisco Unified Communications Manager 内の特定のリソースに対する一連の権限を定義します。アクセス コントロール グループにロールを割り当て、そのアクセス コントロール グループにエンド ユーザを割り当てると、それらのエンド ユーザにそのロールで定義されているすべてのアクセス権限を付与することになります。

ユーザ ランク フレームワークはロールとアクセス コントロール グループ フレームワークをオーバーレイして、エンドユーザが使用可能なグループを決定します。エンドユーザとアプリケーション ユーザは、それぞれのユーザ ランクで許可されるアクセス コントロール グループにのみ割り当てることができます。

ロールの概要

エンドユーザをプロビジョニングする場合、ユーザにどのようなロールを割り当てるか決定する必要があります。ロールはエンドユーザ、アプリケーションユーザ、またはアクセスコントロールグループに割り当てることができます。単独のユーザに複数のロールを割り当てることができます。

各ロールには、特定のリソースまたはアプリケーションに接続される一連の権限が含まれます。たとえば、標準CCMエンドユーザのロールは、そのロールが割り当てられているユーザに、Cisco Unified Communications セルフケアポータルへのアクセス権を提供します。また、Cisco Unified Communications Manager の管理、Cisco CDR Analysis and Reporting、Dialed Number Analyzer、CTI インターフェイスなどのリソースへのアクセスを提供するロールを割り当てることもできます。特定の設定ウィンドウのようなグラフィカルユーザインターフェイスを使用する大部分のリソースでは、ロールに接続された権限によって、ユーザはそのウィンドウのデータ、または関連するウィンドウのグループ内のデータを閲覧したり更新できます。

ロールの設定と割り当て

標準ロールをユーザに割り当てるか、またはカスタムロールを作成するかを決定する必要があります。

- **標準ロール**：標準ロールとは、Cisco Unified Communications Manager に最初からインストールされている、デフォルトの事前定義のロールです。ロールの権限を編集または変更することはできません。
- **カスタムロール**：カスタムロールは自分で作成するロールです。ユーザに割り当てる権限を含む標準ロールがないときに、カスタムロールを作成できます。たとえば、標準ロールを割り当てようとしたが、権限の1つを変更したい場合、標準ロールの権限をカスタムロールにコピーし、そのカスタムロールで権限を編集できます。

権限のタイプ

各ロールには、特定のリソースに接続される一連の権限が含まれます。リソースに割り当てられる権限には2種類あります。

- **[読み取り (Read)]**：読み取り権限では、ユーザはそのリソースの設定を閲覧できますが、設定を更新することはできません。たとえば、この権限ではユーザが特定の設定ウィンドウの設定を閲覧できますが、そのアプリケーションの設定ウィンドウには更新ボタンやアイコンは表示されません。
- **[更新 (Update)]**：更新権限では、ユーザはそのリソースの設定を変更できます。たとえば、この権限ではユーザが特定の設定ウィンドウで更新を実行できます。

エンドユーザロールと管理者ロール

標準CCMエンドユーザ (Standard CCM End Users) ロールは、Cisco Unified Communications セルフケアポータルへのアクセス権をエンドユーザに提供します。CTIアクセスなどの追加権限につ

いては、標準 CTI 対応 (Standard CTI Enabled) ロールなどの追加ロールを割り当てる必要があります。

標準 CCM 管理ユーザ (Standard CCM Admin Users) ロールは、すべての処理タスクのベース ロールであり、認証ロールとして機能します。このロールは、Cisco Unified Communications Manager Administration のユーザ インターフェイスへの管理者アクセスを提供します。Cisco Unified CM の管理では、このロールを Cisco Unified Communications Manager Administration にログインするために必要なロールとして定義しています。

関連トピック

[標準権限とアクセスコントロールグループ, \(11 ページ\)](#)

アクセスコントロールグループの概要

ロールとともにアクセスコントロールグループを使用して、同様のアクセス要件のユーザグループにネットワークへのアクセス権限をすばやく指定できます。

アクセスコントロールグループは、エンドユーザとアプリケーションユーザのリストです。類似したアクセスの必要性を共有するエンドユーザとアプリケーションユーザに、必要な権限と役割を含むアクセスコントロールグループを指定できます。アクセスコントロールグループに割り当てられるエンドユーザやアプリケーションのユーザは、そのアクセスコントロールグループの最小ランク要件を満たす必要があります。たとえば、4 のユーザランクを持つユーザは、最小ランク要件が 4 ~ 10 のアクセスコントロールグループにしか割り当てることができません。

システムには、一連の事前定義された標準アクセスコントロールグループが含まれています。それぞれの標準アクセスコントロールグループには、デフォルトで割り当てられている一連のロールがあります。ユーザをそのアクセスコントロールグループに割り当てると、それらの役割もそのエンドユーザに割り当てられます。

標準アクセスコントロールグループに割り当てられたロールは編集できません。ただし、カスタマイズされたアクセスコントロールグループを作成し、選択したロールをそのカスタマイズされたアクセスコントロールグループに割り当てることができます。

関連トピック

[標準権限とアクセスコントロールグループ, \(11 ページ\)](#)

ユーザランクの概要

ユーザランクのアクセスコントロールでは、管理者がエンドユーザやアプリケーションユーザに提供できるアクセスレベルに対する一連の制御を行います。[ユーザランク (User Rank)] パラメータは 1 ~ 10 の整数で指定し、一番高いランクは 1 です。ユーザランクはユーザとアクセスコントロールグループの両方に割り当てられるため、特定のアクセスコントロールグループに割り当て可能なユーザを決定するランク階層が作成されます。

エンドユーザやアプリケーションユーザをプロビジョニングする場合、管理者は各ユーザのユーザランクを割り当てる必要があります。管理者は、各アクセスコントロールグループにもユー

ザ ランクを割り当てる必要があります。管理者は、同じランクや下のランクのアクセス コントロールグループにのみユーザを割り当てることができます。たとえば、あるエンドユーザのユーザ ランクが 3 の場合、3 ~ 10 のユーザ ランクが設定されているアクセス コントロールグループに割り当てることができます。そのユーザを、ユーザ ランクが 1 である必要があるアクセス コントロールグループに割り当ててはできません。

管理者は、[ユーザ ランクの設定 (User Rank Configuration)] ウィンドウ内でユーザ ランクの階層をカスタマイズして、それらのランクをエンドユーザ、アプリケーションユーザ、アクセス コントロールグループに割り当てることができます。

ユーザ アクセスの前提条件

エンドユーザをプロビジョニングする前に、次の手順を実行します。

- [標準権限とアクセス コントロールグループ](#), (11 ページ) 定義済みのロールとアクセス コントロールグループのリストを確認します。カスタマイズされたロールとグループを設定する必要があるかどうかを判断します。
- ユーザとグループに割り当てるユーザ ランクを計画します。

ユーザ アクセス設定のタスク フロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	カスタム ユーザ ランクの作成 , (5 ページ)	システムのユーザのランク階層を設定します。
ステップ 2	新しいロールを作成する必要がある場合は、次のいずれかの方法を使用します。 <ul style="list-style-type: none"> • カスタム ロールの作成, (5 ページ) • 既存のロールのコピー, (7 ページ) 	新しいロールをまったく最初から作成して設定するには、「作成 (Create)」手順を実行します。新しいロールが既存のロールと同様の権限を持つ場合は、「コピー (Copy)」手順を実行します。既存のロールから新しいロールに権限をコピーしてから、新しいロールの権限を編集します。
ステップ 3	新しいアクセス コントロールグループを作成する必要があるときは、次のいずれかの方法を使用します。 <ul style="list-style-type: none"> • アクセスコントロールグループの作成, (8 ページ) 	新しいアクセス コントロールグループをまったく最初から作成するには、「作成 (Create)」手順を実行します。既存のアクセス コントロールグループに新しいアクセス コントロールグループと類似の設定があれば、「コピー (Copy)」手順を実行します。既存のアクセス コントロール

	コマンドまたはアクション	目的
	<ul style="list-style-type: none"> アクセスコントロールグループのコピー, (8 ページ) 	グループから新しいグループに設定をコピーしてから編集できます。
ステップ4	アクセスコントロールグループへの権限の割り当て, (9 ページ)	新しいアクセスコントロールグループを作成したら、アクセスコントロールグループにロールを割り当てます。
ステップ5	重複する権限ポリシーの設定, (10 ページ)	重複するアクセス権限をカバーするには、エンタープライズポリシーを設定します。これはエンドユーザやアプリケーションのユーザが複数のアクセスコントロールグループまたはロールに割り当てられ、それぞれが相反する権限設定になっている場合をカバーしています。

関連トピック

[標準権限とアクセスコントロールグループ, \(11 ページ\)](#)

カスタムユーザランクの作成

ランク階層を目的として、カスタムユーザランクを作成するには、次の手順を使用します。

手順

-
- ステップ1 Cisco Unified CM の管理から、[ユーザの管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [ユーザランク (User Rank)] を選択します。
 - ステップ2 [新規追加 (Add New)] をクリックします。
 - ステップ3 [ユーザランク (User Rank)] ドロップダウンメニューから、1～10のランク設定を選択します。最も高いランクは1です。
 - ステップ4 [ランク名 (Rank Name)] と [説明 (Description)] を入力します。
 - ステップ5 [保存 (Save)] をクリックします。
-

カスタムロールの作成

必要な権限設定を備えたシステム定義のロールがないとき、カスタムロールを作成します。



ヒント

自分が作成する新しいロールの権限が既存のロールの権限に似ている場合、手順 [既存のロールのコピー](#)、(7 ページ) を実行して、編集可能な新しいロールに既存の権限をコピーします。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理で、[ユーザ管理 (User Management)]>[ユーザ設定 (User Settings)]> [権限 (Role)] をクリックします。
- ステップ 2** [アプリケーション (Application)] ドロップダウン リスト ボックスから、この権限を関連付けるアプリケーションを選択します。
[権限の設定 (Role Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** [Next] をクリックします。
- ステップ 4** [名前 (Name)] テキストボックスに、権限の名前を入力します。
名前は、128 文字まで入力できます。使用できる文字は、英字、数字、ダッシュ (-)、ピリオド、スペース、およびアンダースコアです。
- ステップ 5** [説明 (Description)] テキストボックスに、権限の説明を入力します。
説明は 128 文字以内にする必要があります。
- ステップ 6** 新しい権限が各リソースに対して持つ特権を次のように編集します。
- 権限がそのリソースを表示できるようにするには、[読み取り (Read)] チェックボックスをクリックします。
 - 権限がそのリソースを編集できるようにするには、[更新 (Update)] チェックボックスをクリックします。
 - 権限がそのリソースを表示および編集できるようにするには、[読み取り (Read)] と [更新 (Update)] の両方のチェックボックスをオンにします。
 - 権限に、リソースへのどのようなアクセスも許可しない場合は、両方のチェックボックスをオフのままにします。
- ステップ 7** この権限のページに表示されるすべてのリソースに特権を付与する場合は、[すべてにアクセス権を付与 (Grant access to all)] ボタンをクリックし、すべてのリソースから特権を削除する場合は、[すべてにアクセスを許可しない (Deny access to all)] をクリックします。
(注) リソースのリストが複数のページにわたって表示される場合、このボタンは、現在のページに表示されるリソースに限り適用されます。他のページのリストにあるリソースのアクセス権を変更するには、それらのページを表示し、表示されたページでこのボタンを使用する必要があります。
- ステップ 8** [保存 (Save)] をクリックします。

次の作業

[アクセスコントロールグループの作成, \(8 ページ\)](#)

既存のロールのコピー

[コピー (Copy)] コマンドを使用すると、既存のロール設定に基づいて、新しいロールを作成できます。Cisco Unified Communications Manager では、標準ロールを編集できません。ただし、[コピー (Copy)] コマンドで標準ロールとリソースと権限が同一の新しいロールを作成できます。そして自分が作成した新しいロールの権限を編集できます。

手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM の管理で、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [権限 (Role)] をクリックします。
- ステップ 2 [検索 (Find)] をクリックし、コピーするリソースと特権がある権限を選択します。
- ステップ 3 [コピー (Copy)] をクリックします。
- ステップ 4 新しい権限の名前を入力し、[OK] をクリックします。
[権限の設定 (Role Configuration)] ウィンドウに新しい権限の設定が表示されます。新しい権限の特権は、コピーした権限の特権と同じです。
- ステップ 5 新しい権限のリソースのいずれかで、次のように特権を編集します。
 - [読み取り (Read)] チェックボックスをオンにして、ユーザにリソースの表示を許可します。
 - [更新 (Update)] チェックボックスをオンにして、ユーザにリソースの編集を許可します。
 - リソースへのアクセスを制限するには、両方のチェックボックスをオフにします。
- ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

次の作業

次のいずれかの方法で新しいアクセスコントロールグループを作成します。

- [アクセスコントロールグループの作成, \(8 ページ\)](#)
- [アクセスコントロールグループのコピー, \(8 ページ\)](#)

関連トピック

[標準権限とアクセスコントロールグループ, \(11 ページ\)](#)

アクセスコントロールグループの作成

この手順では、新しいアクセスコントロールグループを作成する必要があります。システム定義アクセスコントロールグループが導入環境のニーズを満たさない場合、新しいアクセスコントロールグループを作成する必要があります。

はじめる前に

新しいロールを作成する必要がある場合は、次のいずれかの手順を実行します。

- [カスタムロールの作成](#)、(5 ページ)
- [既存のロールのコピー](#)、(7 ページ)

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [アクセスコントロールグループ (Access Control Group)] を選択します。
 - ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
 - ステップ 3** [名前 (Name)] にアクセスコントロールグループの名前を入力します。
 - ステップ 4** [ユーザで利用できるユーザランク (Available for Users with User Rank as)] ドロップダウンから、このグループに割り当てる、ユーザの最低ランクを選択します。デフォルトのユーザランクは 1 です。
 - ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
-

次の作業

[アクセスコントロールグループへの権限の割り当て](#)、(9 ページ)

アクセスコントロールグループのコピー

既存のアクセスコントロールグループから設定をコピーして、カスタムアクセスコントロールグループを作成します。既存のアクセスコントロールグループをコピーすると、システムにより、新しいアクセスコントロールグループにすべての設定 (割り当てた権限やユーザを含む) がコピーされます。ただし、デフォルトのアクセスコントロールグループとは異なり、カスタムアクセスコントロールグループに割り当てられた権限は編集できます。

はじめる前に

新しい権限を作成する必要がある場合、次のステップのいずれかを実行します。

- [カスタムロールの作成](#)、(5 ページ)

- [既存のロールのコピー, \(7 ページ\)](#)

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理で、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [アクセスコントロールグループ (Access Control Group)] を選択します。
- ステップ 2** [検索 (Find)] をクリックして、設定をコピーする対象のアクセスコントロールグループを選択します。
- ステップ 3** [コピー (Copy)] をクリックします。
- ステップ 4** 新しいアクセスコントロールグループの名前を入力し、[OK] をクリックします。
- ステップ 5** [ユーザで利用できるユーザランク (Available for Users with User Rank as)] ドロップダウンから、このグループに割り当てる、ユーザの最低ランクを選択します。
- ステップ 6** [保存 (Save)] をクリックします。

次の作業

[アクセスコントロールグループへの権限の割り当て, \(9 ページ\)](#)

関連トピック

[標準権限とアクセスコントロールグループ, \(11 ページ\)](#)

[LDAP ユーザのアクセスコントロールグループの割り当て](#)

[ローカルユーザのアクセスコントロールグループの割り当て](#)

アクセスコントロールグループへの権限の割り当て

作成したすべての新しいアクセスコントロールグループに権限を割り当てます。既存のグループからアクセスコントロールグループをコピーした場合、権限の削除が必要になることもあります。



- (注) デフォルトで設定されている標準アクセスコントロールグループの権限の割り当てはいつでも編集できません。

はじめる前に

新しいアクセスコントロールグループを作成するには、次のタスクのいずれかを実行します。

- [アクセスコントロールグループの作成, \(8 ページ\)](#)
- [アクセスコントロールグループのコピー, \(8 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理で、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [アクセス コントロール グループ (Access Control Group)] を選択します。
- ステップ 2** [検索 (Find)] をクリックし、アクセス コントロール グループを選択します。
- ステップ 3** [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリストボックスで、[アクセス コントロール グループへの権限の割り当て (Assign Role to Access Control Group)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。
- ステップ 4** 権限を割り当てる必要がある場合は、以下の手順に従います。
- [グループに権限を割り当て (Assign Role to Group)] をクリックします。
 - [権限の検索と一覧表示 (Find and List Roles)] ウィンドウで、グループに割り当てる権限のチェックボックスをオンにします。
 - [選択項目の追加 (Add Selected)] をクリックします。
- ステップ 5** 権限を削除する必要がある場合は、以下の手順に従います。
- [権限 (Role)] リスト ボックスで、削除する権限を強調表示します。
 - [割り当てた権限の削除 (Delete Role Assignment)] をクリックします。
- ステップ 6** [保存 (Save)] をクリックします。
-

次の作業

[重複する権限ポリシーの設定, \(10 ページ\)](#)

重複する権限ポリシーの設定

アクセス コントロール グループの割り当てで重複するユーザ権限を Cisco Unified Communications Manager がどのように処理するのかを設定します。これにより、エンドユーザが複数のアクセス コントロール グループに割り当てられ、それぞれのロールとアクセス権限が相反する状況に対応できます。

はじめる前に

[アクセス コントロール グループへの権限の割り当て, \(9 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[システム (System)] > [エンタープライズ パラメータ (Enterprise Parameters)] を選択します。
- ステップ 2** [ユーザ管理パラメータ (User Management Parameters)] で、[重複したユーザグループとロールの実質的なアクセス権 (Effective Access Privileges For Overlapping User Groups and Roles)] に次のいずれかの値を設定します。

- [最大 (Maximum)] —実質的な権限は、重複したすべてのアクセス コントロール グループの最大限の権限になります。これがデフォルトのオプションです。
- [最小 (Minimum)] —実質的な権限は、重複したすべてのアクセス コントロールグループの最小限の権限になります。

ステップ 3 [保存 (Save)] をクリックします。

標準権限とアクセスコントロールグループ

次の表は、Cisco Unified Communications Manager にあらかじめ設定されている標準権限およびアクセス コントロール グループの概要です。標準権限が持つ特権はデフォルトで設定されています。また、標準権限に関連付けられたアクセスコントロールグループも、デフォルトで設定されています。

標準権限、および標準権限に関連付けられたアクセスコントロールグループの両方で、特権または権限の割り当てを編集できません。

表 1: 標準権限、特権、およびアクセス コントロール グループ

標準権限	権限に対する特権およびリソース	関連付けられた標準アクセスコントロールグループ
Standard AXL API Access	AXL データベース API へのアクセスを許可します。	標準 CCM スーパー ユーザ
標準 AXL API ユーザ	AXL API を実行するログイン権限を付与します。	
標準 AXL 読み取り専用 API アクセス	AXL 読み取り専用 API (API の一覧表示、API の取得、SQL Query API の実行) の実行をデフォルトで許可します。	
標準管理 Rep Tool 管理	Cisco Unified Communications Manager CDR Analysis and Reporting (CAR) の表示および設定が可能になります。	標準 CAR 管理ユーザ、標準 CCM スーパー ユーザ

標準権限	権限に対する特権およびリソース	関連付けられた標準アクセスコントロールグループ
標準監査ログ管理	<p>監査ロギング機能の次のタスクを実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Serviceability の [監査ログ設定 (Audit Log Configuration)] ウィンドウでの、監査ロギングの表示および設定 • Cisco Unified Serviceability でのトレースの表示と設定、および Real-Time Monitoring Tool の監査ログ機能向けトレースの収集 • Cisco Unified Serviceability の Cisco Audit Event Service の表示、開始、停止 • RTMT での、関連付けられたアラートの表示および更新 	標準監査ユーザ
Standard CCM Admin Users	Cisco Unified Communications Manager の管理へのログイン権限を付与します。	標準 CCM 管理ユーザ、標準 CCM ゲートウェイ管理、標準 CCM 電話管理、標準 CCM 読み取り専用、標準 CCM サーバモニタリング、標準 CCM スーパーユーザ、標準 CCM サーバメンテナンス、標準 パケット スニファ ユーザ
[標準 CCM エンドユーザ (Standard CCM End Users)]	Cisco Unified Communications セルフケアポータルにログインする権限をエンドユーザに付与します。	[標準 CCM エンドユーザ (Standard CCM End Users)]

標準権限	権限に対する特権およびリソース	関連付けられた標準アクセスコントロールグループ
標準 CCM 機能管理	<p>Cisco Unified Communications Manager の管理で、次のタスクを実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一括管理ツールによる次の項目の表示、削除、挿入 <ul style="list-style-type: none"> ◦ クライアント関連のコードと強制承認コード ◦ コール ピックアップ グループ • Cisco Unified Communications Manager の管理での次の項目の表示および設定 <ul style="list-style-type: none"> ◦ クライアント関連のコードと強制承認コード ◦ コール パーク ◦ コール ピックアップ ◦ ミートミーの番号またはパターン ◦ メッセージ受信 ◦ Cisco Unified IP Phone サービス ◦ ボイスメールパイロット、ボイスメールポートウィザード、ボイスメールポート、ボイスメールプロファイル 	標準 CCM サーバ メンテナンス
標準 CCM ゲートウェイ管理	<p>Cisco Unified Communications Manager の管理で、次のタスクを実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一括管理ツールによるゲートウェイ テンプレートの表示および設定 • ゲートキーパー、ゲートウェイ、およびトランクの表示および設定 	標準 CCM ゲートウェイ管理

標準権限	権限に対する特権およびリソース	関連付けられた標準アクセスコントロールグループ
標準 CCM 電話管理	<p>Cisco Unified Communications Manager の管理で、次のタスクを実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一括管理ツールによる電話の表示とエクスポート • 一括管理ツールによるユーザデバイスプロファイルの表示と挿入 • Cisco Unified Communications Manager の管理での次の項目の表示および設定 <ul style="list-style-type: none"> ◦ BLF 短縮ダイヤル ◦ CTI ルート ポイント ◦ デフォルト デバイス プロファイルまたはデフォルト プロファイル ◦ 電話番号、および回線の状態 ◦ ファームウェア ロード情報 ◦ 電話ボタンテンプレートまたはソフトキーテンプレート ◦ 電話機 ◦ [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの [ボタン項目を変更 (Modify Button Items)] をクリックすることによる、特定の電話に対する電話ボタンの情報の並べ替え 	標準 CCM 電話管理

標準権限	権限に対する特権およびリソース	関連付けられた標準アクセスコントロールグループ
標準 CCM ルート プラン計画管理	<p>Cisco Unified Communications Manager の管理で、次のタスクを実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アプリケーションダイヤルルールの表示および設定 • コーリングサーチスペースおよびパーティションの表示および設定 • ダイヤル ルール パターンを含むダイヤル ルールの表示および設定 • ハントリスト、ハントパイロット、回線グループの表示および設定 • ルート フィルタ、ルート グループ、ルート ハントリスト、ルートリスト、ルートパターン、ルート プラン レポートの表示および設定 • 時間帯およびスケジュールの表示および設定 • トランスレーションパターンの表示および設定 	
標準 CCM サービス管理	<p>Cisco Unified Communications Manager の管理で、次のタスクを実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 次の項目を表示および設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ アナンシエータ、会議ブリッジ、トランスコーダ ◦ オーディオ ソースおよび MOH サーバ ◦ メディア リソース グループおよびメディア リソース グループ リスト ◦ Media Termination Point; メディア ターミネーション ポイント ◦ Cisco Unified Communications Manager Assistant ウィザード • 一括管理ツールの [マネージャの削除 (Delete Managers)]、[マネージャ/アシスタントの削除 (Delete Managers/Assistants)] および [マネージャ/アシスタントの挿入 (Insert Managers/Assistants)] ウィンドウでの表示および設定ができます。 	標準 CCM サーバ メンテナンス

標準権限	権限に対する特権およびリソース	関連付けられた標準アクセスコントロールグループ
標準 CCM システム管理	<p>Cisco Unified Communications Manager の管理で、次のタスクを実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 次の項目を表示および設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 代替ルーティング (AAR) グループの自動化 ◦ Cisco Unified Communications Manager (Cisco Unified CM) および Cisco Unified Communications Manager のグループ ◦ 日時グループ ◦ デバイス デフォルト ◦ デバイス プール ◦ エンタープライズ パラメータ ◦ エンタープライズ電話の設定 ◦ ロケーション (Locations) ◦ Network Time Protocol (NTP) サーバ ◦ プラグイン ◦ Skinny Call Control Protocol (SCCP) または Session Initiation Protocol (SIP) を実行する電話用のセキュリティプロファイル、SIP トランク用のセキュリティプロファイル ◦ Survivable Remote Site Telephony (SRST) の参照 ◦ サーバ • 一括管理ツールの、[ジョブ スケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウでの表示と設定 	標準 CCM サーバ メンテナンス
標準 CCM ユーザ権限管理	Cisco Unified Communications Manager の管理で、アプリケーション ユーザの表示および設定ができます。	
標準 CCMADMIN 管理	CCMAdmin システムのすべての面を利用できます。	
標準 CCMADMIN 管理	Cisco Unified Communications Manager の管理および一括管理ツールのすべての項目を表示および設定できます。	標準 CCM スーパー ユーザ

標準権限	権限に対する特権およびリソース	関連付けられた標準アクセスコントロールグループ
標準CCMADMIN管理	Dialed Number Analyzer の情報を表示および設定できます。	
標準 CCMADMIN 読み取り専用	すべての CCMAdmin リソースの読み取りを許可します。	
標準 CCMADMIN 読み取り専用	Cisco Unified Communications Manager の管理および一括管理ツールの項目を表示できます。	標準 CCM ゲートウェイ管理、標準 CCM 電話管理、標準 CCM 読み取り専用、標準 CCM サーバメンテナンス、標準 CCM サーバモニタリング
標準 CCMADMIN 読み取り専用	Dialed Number Analyzer で、ルーティング設定の分析ができます。	
標準 CCMUSER 管理	Cisco Unified Communications セルフケアポータルへのアクセスを許可します。	[標準CCMエンドユーザ (Standard CCM End Users)]
標準 CTI 通話モニタリング許可	CTIアプリケーションまたはデバイスでコールをモニタできます。	標準 CTI 通話モニタリング許可
標準 CTI コールパーク モニタリング許可	CTIアプリケーションまたはデバイスでコールパークをモニタできます。	標準 CTI コールパーク モニタリング許可
標準 CTI 通話録音許可	CTI アプリケーション/デバイスで通話を録音できます。	標準 CTI 通話録音許可
標準 CTI 発信者番号の変更許可	CTIアプリケーションが発信者番号を通話中に変更できます。	標準 CTI 発信者番号の変更許可
標準 CTI によるすべてのデバイスの制御	CTIで制御可能なすべてのデバイスを制御できます。	標準CTIによるすべてのデバイスの制御
標準 CTI 接続された転送と会議をサポートする電話の制御許可	接続された転送および会議をサポートするすべての CTI デバイスを制御できます。	標準CTI接続された転送と会議をサポートする電話の制御許可
標準 CTI ロールオーバーモードをサポートする電話の制御許可	ロールオーバー モードをサポートするすべての CTI デバイスを制御できます。	標準 CTI ロールオーバー モードをサポートする電話の制御許可

標準権限	権限に対する特権およびリソース	関連付けられた標準アクセスコントロールグループ
標準 CTI SRTP 重要素材の受信許可	CTI アプリケーションが、SRTP を使う重要な素材にアクセスしたり、その素材を配信したりできるようにします。	標準 CTI SRTP 重要素材の受信許可
[標準CTIを有効にする (Standard CTI Enabled)]	CTI アプリケーションの制御を可能にします。	[標準CTIを有効にする (Standard CTI Enabled)]
標準 CTI セキュア接続	Cisco Unified Communications Manager へのセキュアな CTI 接続が可能になります。	標準 CTI セキュア接続
標準CUREporting	アプリケーション ユーザが、さまざまなソースからレポートを作成できます。	
標準CUREporting	Cisco Unified Reporting での、レポートの表示、ダウンロード、作成、およびアップロードができます。	標準 CCM 管理ユーザ、標準 CCM スーパー ユーザ
標準 EM 認証プロキシ権限	アプリケーションで使用する Cisco Extension Mobility (EM) の認証権限を管理します。この権限は、(Cisco Unified Communications Manager Assistant や Cisco Web Dialer などの) Cisco Extension Mobility と対話するすべてのアプリケーションユーザに必要です。	標準 CCM スーパー ユーザ、標準 EM 認証プロキシ権限
標準パケット スニフイング	Cisco Unified Communications Manager の管理にアクセスし、パケット スニフイング (キャプチャ) ができます。	標準パケット スニファ ユーザ
Standard RealtimeAndTraceCollection	Cisco Unified Serviceability および Real-Time Monitoring Tool にアクセスし、次の項目を表示および使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • Simple Object Access Protocol (SOAP) Serviceability AXL API • SOAP コール レコード API • SOAP 診断ポータル (Analysis Manager) データベース サービス • 監査ログ機能のトレースの設定 • トレース収集などの、Real-Time Monitoring Tool の設定 	Standard RealtimeAndTraceCollection

標準権限	権限に対する特権およびリソース	関連付けられた標準アクセスコントロールグループ
Standard SERVICEABILITY	<p>Cisco Unified Serviceability または Real-Time Monitoring Tool で、次のウィンドウを表示および設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [アラーム設定およびアラーム定義 (Alarm Configuration and Alarm Definitions)] (Cisco Unified Serviceability) • [監査トレース (Audit Trace)] (読み取りおよび表示のみ可能なマークが付けられています) • SNMP 関連のウィンドウ (Cisco Unified Serviceability) • [トレースの設定 (Trace Configuration)] および [トレース設定のトラブルシューティング (Troubleshooting of Trace Configuration)] (Cisco Unified Serviceability) • ログパーティションのモニタリング • [アラートの設定 (Alert Configuration)] (RTMT) 、 [プロファイルの設定 (Profile Configuration)] (RTMT) 、 および [トレース収集 (Trace Collection)] (RTMT) <p>SOAP Serviceability AXL API、SOAP Call Record API、および SOAP 診断ポータル (Analysis Manager) データベース サービスを表示および使用できます。</p> <p>SOAP コールレコード API については、RTMT Analysis Manager Call Record の権限が、このリソースを介して制御されます。</p> <p>SOAP 診断ポータル データベース サービスについては、RTMT Analysis Manager Hosting Database アクセスが、このリソースを介して制御されます。</p>	標準 CCM サーバモニタリング、標準 CCM スーパー ユーザ
標準 SERVICEABILITY 管理	<p>有用性の管理者は、Cisco Unified Communications Manager の管理に表示されるプラグイン ウィンドウにアクセスでき、このウィンドウからプラグインをダウンロードできます。</p>	
標準 SERVICEABILITY 管理	<p>Dialed Number Analyzer の有用性をすべての面で管理できます。</p>	

標準権限	権限に対する特権およびリソース	関連付けられた標準アクセスコントロールグループ
標準 SERVICEABILITY 管理	Cisco Unified Serviceability および Real-Time Monitoring Tool のすべてのウィンドウを表示および設定できます ([監査トレース (Audit Trace)]では表示のみ可能です)。 すべての SOAP Serviceability AXL API を表示および使用できます。	
標準 SERVICEABILITY 読み取り専用	Dialed Number Analyzer のコンポーネントで使用する有用性に関するすべてのデータを表示できます。	標準 CCM 読み取り専用
標準 SERVICEABILITY 読み取り専用	Cisco Unified Serviceability および Real-Time Monitoring Tool で、設定を表示できます。(標準監査ログ管理の権限により表示される監査設定ウィンドウは除きます) SOAP Serviceability AXL API、SOAP Call Record API、および SOAP 診断ポータル (Analysis Manager) データベース サービスをすべて表示できます。	
標準システム サービス管理	Cisco Unified Serviceability で、サービスを表示、アクティベート、開始、および停止できます。	
標準 SSO 設定管理	SAML SSO の設定をすべての面で管理できます。	
標準機密アクセス レベル ユーザ	すべての機密アクセス レベル ページにアクセスできます。	標準 Cisco Call Manager 管理
標準 CCMADMIN 管理	CCMAdmin システムをすべての面で管理できます。	標準 Cisco Unified CM IM およびプレゼンスの管理
標準 CCMADMIN 読み取り専用	すべての CCMAdmin リソースの読み取りを許可します。	標準 Cisco Unified CM IM およびプレゼンスの管理
標準 CUReporting	アプリケーション ユーザが、さまざまなソースからレポートを作成できます。	標準 Cisco Unified CM IM およびプレゼンスのレポート